

つながる にぎわう ささえあう
すべては私とミライのために
みんなが主役のまち 上市

第8次上市町総合計画

(後期基本計画)

第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略



令和8年3月
上市町

第8次上市町総合計画

(後 期 基 本 計 画)

第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略

つながる にぎわう ささえあう

すべては私とミライのために

みんなが主役のまち 上市

上市町民憲章

私たちの祖先は、いにしえより厳しく気高い劔岳を仰ぎ、豊かな風土にはぐくまれ、栄光ある歴史を築きあげてきました。

私たちも、劔岳の雄々しさにあこがれ、美しい水と緑に育ち、希望に生きる上市町民です。

より豊かで、住みよい、文化のかおり高い上市町をつくるために、この憲章を定めます。

- 郷土を愛し 緑豊かな美しい町をつくりましょう
- 心のふれあいを深め 愛情あふれる平和な町をつくりましょう
- 勤労にはげみ スポーツに親しみ 活力あふれる町をつくりましょう
- 視野を広め 科学と文化の豊かな町をつくりましょう
- 若い力を育て 希望と活気のみなぎる町をつくりましょう

昭和58年6月20日制定

ごあいさつ

人口減少社会において都市圏に過度に人口が集中する中で、地方では近年、担い手不足や地域経済の縮小、暮らしを支えるサービスの維持など、課題が複合的に顕在化しています。全国で地方創生の取組が懸命に続けられていますが、未だ人口減少に歯止めをかけることはできておらず、地域の実情に即した持続可能なまちづくりのための取組を重ねていくことが求められています。



上市町でも、令和3年度から10年間を計画期間とする第8次上市町総合計画で掲げる将来像「つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市」の実現を目指し、人口減少対策や地域活性化策を進めると共に、「第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を併せて策定し、通信情報技術の進展による都市から地方へのひと・もの・しごとの流れの中で、「選ばれるまち」となるよう取組を推進してまいりました。その中で、社会増減の改善など一定の成果も見えたところですが、この総合計画も計画期間が半分経過することから、これまでの取組を検証し、社会情勢の変化や新たな課題を見据えた後半5年間の後期基本計画と「第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に策定いたしました。

今回の計画におきましても、移住や子育てに重点を置いた施策の展開による人口増に向けた取組を行うほか、本町の特性や資源を最大限に活かしながら、人口縮小社会においても暮らしの質を高め活力あるまちづくりを実現するため、デジタル技術による効率化や利便性の向上、情報発信等を進めるDX推進ビジョンを包括した計画としています。

誰もが安心して暮らせることはもちろん、これからの上市町を担う若い世代が、地域に誇りと愛着を持ち、ここで学び、働き、暮らし、将来を描ける環境づくりは、町の持続性を左右する大切な取組です。本町の魅力を更に高め、「住んでみたい・住み続けたい・選ばれるまち」の実現に向け、町民の皆さま、地域団体、事業者、関係機関の皆さまと力を合わせ、みんなが主役のまちづくりを着実に推進してまいります。

この計画を策定するにあたり、熱心なご審議を重ねていただきました上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員をはじめ、町民の皆さまに心から感謝と御礼を申し上げますとともに、計画の実現に向け、今後とも皆さまの一層のご協力とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

上市町長 中川 行孝

目次

第1編 第8次上市町総合計画 基本構想	5
1 まちの将来像	6
2 目標人口・土地利用構想	7
3 基本目標	10
4 政策大綱	11
5 政策	12
第2編 第8次上市町総合計画 基本計画【重点施策】	17
第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略	18
1 地方創生の方針	18
2 上市町DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進ビジョン	19
3 戦略の体系	22
4 具体的な施策	23
第3編 第8次上市町総合計画策定の趣旨等	39
1 計画の趣旨と役割	40
2 上市町の現況	43
3 社会的潮流	48
4 将来に向けたまちづくりの課題	52
第4編 第8次上市町総合計画 基本計画【個別施策】	63
1 つながる上市	
～幸せでわくわくのミライへ“つながる”子育て・教育～	64
つながる 1 子育て支援	64
つながる 2 教育・文化	71
2 にぎわう上市	
～変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤～	83
にぎわう 1 産業	83
にぎわう 2 基盤整備	92
3 ささえあう上市	
～守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし～	107
ささえあう 1 福祉・健康	107
ささえあう 2 生活安全	115
ささえあう 3 行財政運営	120
数値目標一覧・資料編	125
数値目標一覧	126
上市町DX推進ビジョン関連資料	142
資料編	147



第 1 編

第 8 次上市町総合計画

基本構想

1 まちの将来像



つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市

町民一人ひとりが幸せになることが、上市町が幸せになるということです。

自分と町民みんなの未来のため、一人ひとりが主体的に取り組む意識を高めることが重要です。「私とミライのために」と表現することで、町のあるべき姿が多くの人々に共有されて我が事としてとらえられ、町民と町を応援したい人々が、あるべき姿を実現するための様々な政策・施策の必要性に共感して、実際の取組に積極的な参画ができます。

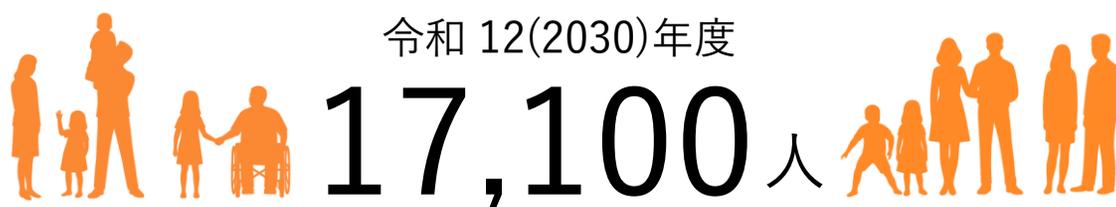
また、世代間交流によって子どもから高齢者まで幅広くつながり、子どもが増えてかつての活気が戻り、担い手が育った中小企業を中心として産業がにぎわい、困難があっても町民同士がささえあい、幸せで満足感に満たされ、町民である私たちみんなが主役の町を目指します。

まちの将来像のキーワードとして使用する「ミライ」という表現には、より未来的で特別な印象を強調する意図が込められています。

2 目標人口・土地利用構想

2-1 目標人口

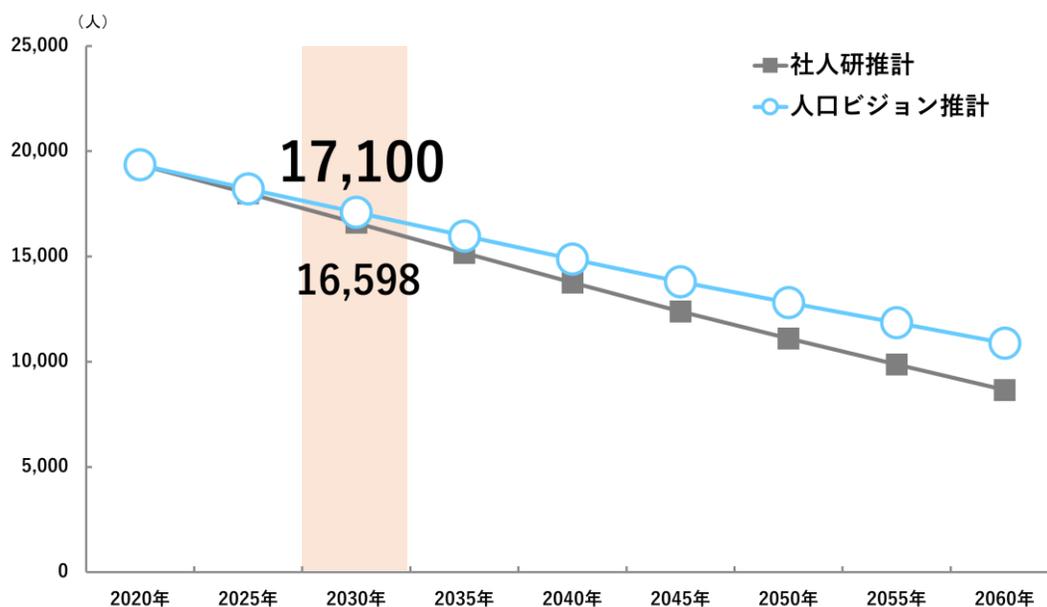
本計画では、人口ビジョン*との整合を図って、目標人口を次のとおり設定し、実現に向けて各施策の展開を図ります。



本町の人口は、近年減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。自然動態*では出生数が減り、死亡数が増えています。社会動態*では、10代後半から20代を中心に転出が多く、特に女性の転出超過が目立っている傾向が見られます。

近年の国勢調査の結果（令和2（2020）年）を元にした人口推計（国立社会保障・人口問題研究所*）によると、第8次総合計画基本構想の目標年度である令和12（2030）年には、16,598人になると見込まれています。これに対し、人口ビジョン（令和8（2026）年3月改訂）においては、令和12（2030）年までに社会移動*の均衡（転入と転出の差が0）を実現し、以降これを継続するほか、合計特殊出生率*が令和12（2030）年までに1.3まで上昇し、その後令和22（2040）年までに1.5を実現し、以降これを維持すると仮定した場合の推計を採用しました。

■ 人口ビジョンにおける人口推計



※人口ビジョン（令和8（2026）年3月改訂）を元に作成

* マークがついている単語については、巻末の用語集（P.164～）に意味を記載しています。マークは初出時に付与しています。

2-2 土地利用構想

土地は、将来にわたっての住民生活や生産活動の基盤であることから、長期的視点に立ち、秩序ある合理的な利用を図ることが大切です。

本町の地形やまちの成り立ち、地域特性を踏まえ、「森林環境保全ゾーン」「田園集落地保全ゾーン」「市街地形成ゾーン」と位置づけ、それぞれの区分の目指す基本的な方向性を整理します。

(1) 森林環境保全ゾーン

市街地南東部の緑豊かな森林が見られる山間部の地域に位置づけ、北アルプス（劔岳など）から連なる緑豊かな森林環境を保全するとともに、穴の谷霊場、史跡上市黒川遺跡群など歴史・文化資源の保全・活用を図ります。

(2) 田園集落地保全ゾーン

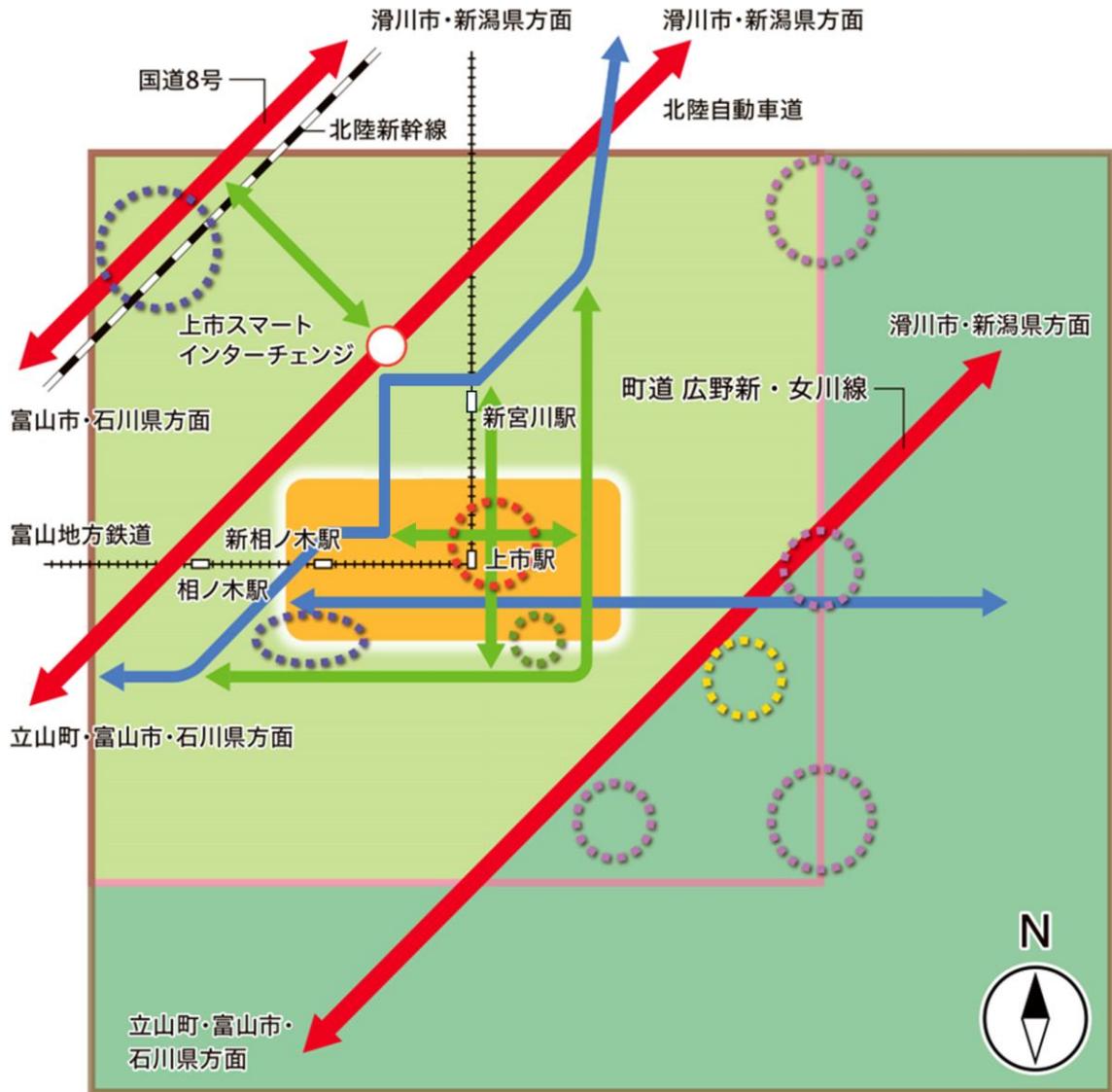
市街地を取り囲み、平野部の農地や集落地が点在する地域に位置づけ、田園と集落地が調和した環境を保全するとともに、住み慣れた土地で快適に暮らすことができるように生活環境の維持などを図ります。

(3) 市街地形成ゾーン

用途地域が指定されている地域を「市街地形成ゾーン」として位置づけ、都市機能を集約するとともに、若者などの移住・定住を促進する良好な住環境や、建物などが調和した美しい街並みの創出などにより、人々で賑わう市街地の形成を図ります。



■ 将来都市構造



- 凡例
- 市街地形成ゾーン
 - 田園集落保全ゾーン
 - 森林環境保全ゾーン
 - 広域連携軸
 - 都市間連携軸
 - 市街地連携軸
 - 都市中心拠点
 - 産業創出拠点
 - 都市機能・交流拠点
 - スポーツ・レクリエーション拠点
 - 歴史・文化保全拠点
 - 都市計画区域
 - 行政界

3 基本目標

まちの将来像の実現と目標人口の達成のため、次の3つを基本目標とし、基本目標ごとに政策を定めます。設定に当たっては、時代の潮流に対応した「つながる」「にぎわう」の取組において充実や変化、チャレンジを推進するとともに、安心して暮らせるための「ささえあう」取組の充実により町民の生活を守り、「変えるべきところは変え、守るべきところを守る」を実行していきます。

基本目標1 つながる上市 ～幸せでわくわくのミライへ“つながる”子育て・教育～

子どもは、まちにとってミライの担い手です。子どもがこの上市町でそれぞれの個性をひらき、のびのびと育つことによって、まちがミライへとつながります。家庭、学校、地域がつながり、まち全体で子ども・子育てを見守り、支援していくことで、子どもを安心して産み育てられ、子どもたちがミライに希望を持ち健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

また、子どもから高齢者まで世代間のつながりを大切にし、のびのびと学び、町民文化を育むことができる教育・学習環境の充実とスポーツの振興を図り、ミライへつながる人づくりを進めます。

基本目標2 にぎわう上市 ～変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤～

上市町が将来にわたって「訪れたい、会いたい人がいる、住みたい、やりたい仕事がある」まちとなることを目指します。そのために、新しい生活様式*に配慮しつつ、未来技術を取り入れた産業や情報基盤*への変化と、中小規模の商店や農林業等の次世代への継承に積極果敢にチャレンジし、にぎわいを生む仕事づくりを推進するとともに、上市町の持つ魅力や価値を更に磨き上げ、訪問者や移住者を呼び込み、まちのにぎわいを向上させます。

また、環境への配慮を大切にしながら、住環境、交通網などといった、まちのにぎわいを支える基盤の強化に取り組みます。

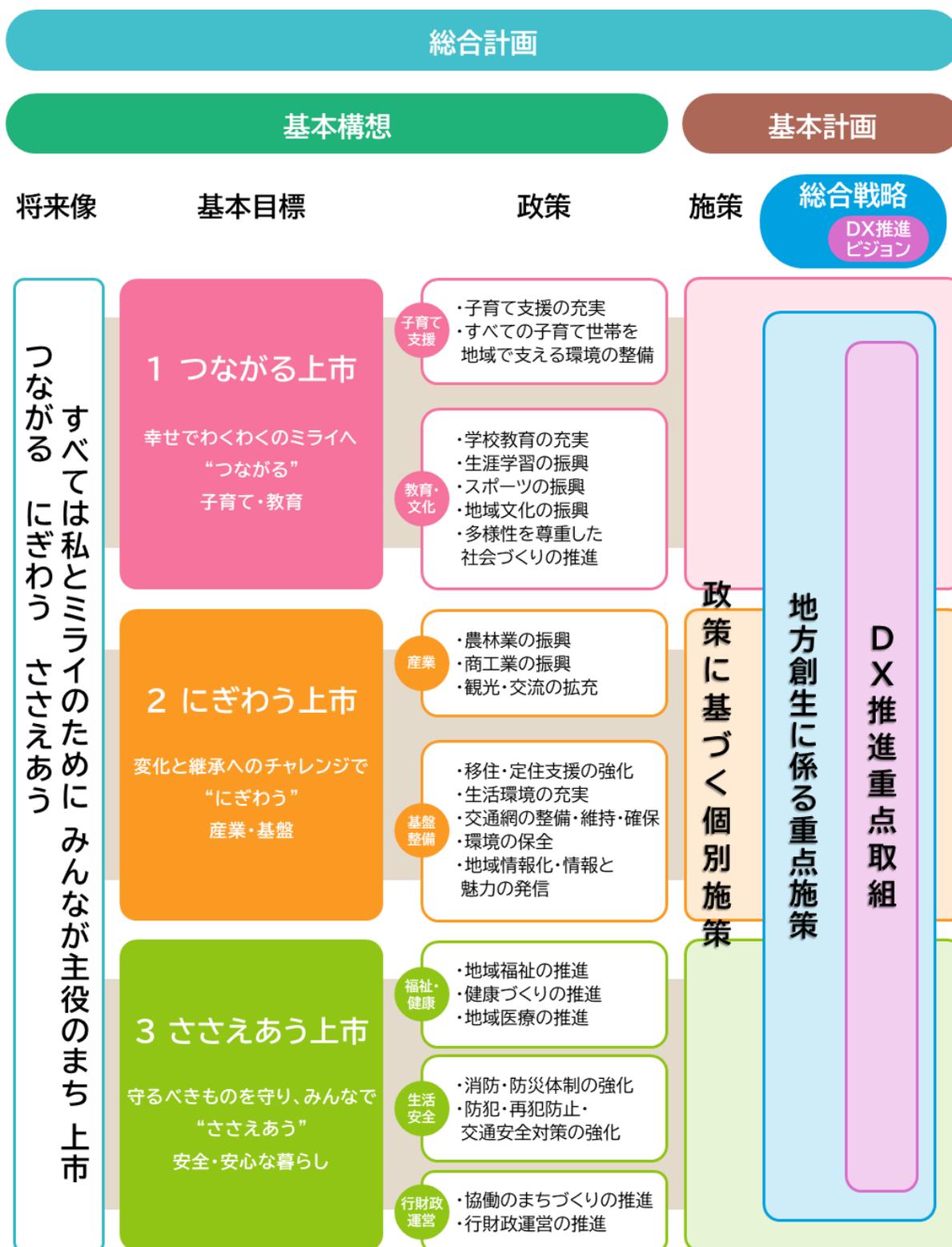
基本目標3 ささえあう上市 ～守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし～

すべての町民があらゆる場でお互いを認め合い、理解し合うことにより、人と人との多様なつながりが生まれ、地域でのささえあいの基礎となります。このささえあいにより、誰も取り残されることのない福祉のまちづくりの推進と、町民の健康づくりの支援を行い、「住んでよかった、住み続けたい」と感じ、安全・安心して暮らせるまちを目指します。

また、ミライの世代のため、まちの魅力と活力を守り持続していくことが、今を生きる私たちの責務です。ミライに向けて、最大限の工夫と努力により健全な財政を堅持しつつ、あらゆる政策分野において、町民、団体、事業者、行政等が一緒になって議論、検討する場を設け、協働体制でまちづくりに力を注いでいきます。

4 政策大綱

第8次上市町総合計画 体系図



5 政策

5-1 つながる上市 ～幸せでわくわくのミライへ“つながる”子育て・教育～

つながる1 子育て支援

豊かな自然に抱かれて、出産から子育てまでの一連の流れが切れ目なくつながり、子どもの成長を支えることができるよう、地域ぐるみで安心して子育てができるまちを目指します。

親が安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちとなるよう、乳幼児・児童数やニーズの動向を注視しながら、ニーズの変化に応じた子育て支援を行うため、サービス提供体制の充実や関係団体・機関の分野を超えた連携、サービスの質の向上等を図ります。

また、本町で培われてきた地域人材や地域住民同士のつながりを活用しながら、地域ぐるみの子育てを推進し、より多くの町民が子育てに関わることで、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、子どもの健全な成長へつなげます。子育て世帯の中には、悩みを相談する機会を持っていない人や、経済的な支援を求める人がいることから、こうした支援を必要とするすべての子どもや家庭に対し、適切な支援が行き届くよう努めます。

政策項目

1-1 子育て支援の充実 1-2 すべての子育て世帯を地域で支える環境の整備

つながる2 教育・文化

上市町の子どもたちが、時代に対応し、たくましく生きていくために必要な、人間力や社会性を培う教育が実践できるまちを目指します。また、町民一人ひとりが多様な生き方や価値観を尊重しつつ、充実した学習活動やスポーツ活動、創作活動ができる環境をつくり、豊かな地域文化を目指します。

子どもたち一人ひとりがこれからの社会に必要とされる人間力と社会性を培うことができるよう支援するため、地域と行政が連携して、学校教育における学びの質と環境を充実させていきます。

また、町民が、年齢に応じた学習活動に取り組んで知識を豊かにしたり、スポーツに関心を持って、積極的に親しんだりする環境づくりのほか、豊かな芸術・文化に身近にふれ、それらを守りながら生活するとともに、意欲的な創作活動による、新たな地域文化が育まれることを支援していきます。

人権について、教育・啓発等を通じ、社会通念*、慣行、偏った意識、制度等を見直し、多様な価値観や生き方を尊重する意識を育み、家庭、職場、学校等において国籍や性別、年齢、障害などの区別なく協力しあう社会づくりや、文化の多様性への理解が進むよう努めます。

政策項目

2-1 学校教育の充実 2-2 生涯学習の振興 2-3 スポーツの振興 2-4 地域文化の振興 2-5 多様性を尊重した社会づくりの推進

5-2 にぎわう上市 ～変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤～

にぎわう1 産業

緑と水の豊かな自然や美しい景観、文化、歴史などの地域資源を活用し、本町に根差した産業の振興を目指すとともに、時代の変化に対応するための人材育成や新規事業の創出、技術の継承や事業者間での連携など、変化と継承へのチャレンジを支援し、魅力ある力強い地域経済の実現を目指します。

意欲ある担い手が質・量共に安定した農林業を営めるような環境づくりに努めるとともに、地域ぐるみの集落環境の保全に努めます。また、町内の企業、事業所の経営や雇用環境の向上を支援するとともに、未来技術を取り入れた新規事業の創出や販路拡大、特産品開発等の施策を展開し、まちのにぎわいを生む仕事づくりを推進します。

観光・交流では、まちの宝である自然・歴史・伝統文化・産業を見つめなおし、町民や上市町に関わるすべての人々を大きなわ（輪、和、環）で繋ぐという「上市まちのわ宣言」に基づいて、まちの魅力の再発見や自然観光資源の保全、観光情報の発信力強化等のエコツーリズム*を推進し、「訪れたい、会いたい人がいる」と感じる上市ファンの拡大と受入れ体制強化の取組を推進します。

政策項目

1-1 農林業の振興 1-2 商工業の振興 1-3 観光・交流の拡充

にぎわう2 基盤整備

都市から地方への企業進出や移住・定住を促進するため、リモートワーク*やデジタル革命*等による多様な働き方や生活常識の変化に対応できる情報・交通基盤の維持・整備と生活環境の充実を図り、都市から選ばれるまちを目指します。

本町への企業の進出や移住・定住を促進するため、リモートワークやデジタル革命に対応できる情報基盤の整備を進めるとともに、町内の自然環境や上市スマートインターチェンジを効果的にPRしていきます。

移住希望者へ、お試し居住、子育て支援策、町内企業・事業所の魅力等の情報をきめ細やかに発信するとともに、公園や上・下水道等の適切な維持管理を推進し、良質な生活環境の確保に努めます。

また、上市スマートインターチェンジの開通による経済効果を高めるため、道路ネットワークの更なる充実に努めるとともに、公共交通の維持・充実により、交通弱者や観光・交流での訪問者への交通手段の確保に努めます。

エネルギーの有効活用や環境意識の普及啓発などを通じて地球温暖化対策、循環型社会に向けた、人や自然にやさしい環境づくりを推進します。

政策項目

2-1 移住・定住支援の強化 2-2 生活環境の充実 2-3 交通網の整備・維持・確保
2-4 環境の保全 2-5 地域情報化・情報と魅力の発信

5-3 ささえあう上市 ～守るべきものを守りみんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし～

ささえあう1 福祉・健康

町民一人ひとりが主体的に健康に心掛け、仲間や地域とのつながりをつくることで、生きがいと幸福感を感じながら暮らせるまちを目指します。

少子高齢化やライフスタイルの変化等により、地域のつながりが希薄化すると、生活の中で助けを必要とする高齢者や障害者、ひきこもり、低所得者等の社会的孤立が増加することが懸念されます。

だれもが住み慣れた地域でいきいきとした生活をおくることができるよう、包括的な相談支援体制の構築と、町民一人ひとりの努力（自助）、町民同士の相互扶助（共助）、公的な制度（公助）の連携により、支え合う仕組みづくりを推進します。

また、心身共に生涯元気に暮らせるよう、安心して医療を受けることができる体制を確保するとともに、町民が主体的に健康に関心を持ち、健康づくり活動の促進を図るとともに、生活習慣病や感染症予防対策の充実を図ります。

政策項目

1-1 地域福祉の推進 1-2 健康づくりの推進 1-3 地域医療の推進

ささえあう2 生活安全

地域ぐるみで災害や犯罪、交通事故といったリスクから守るための取組を強化し、町民生活の安全を確保します。

近年における全国的な異常気象や、災害発生状況を踏まえ、防災訓練や災害時避難行動要支援者*の把握、消防力の強化などの地域防災力の向上に努めます。

複雑・多様化する災害に対処するため、地域の総合的な防災力の向上と、「国土強靱化*」による防災・減災*体制の充実を図るとともに、消防団や自主防災組織を中心とした地域防災力の向上に努めます。また、災害の被害を最小限に食い止めるために、災害に強いまちづくりを推進します。

また、生活の安全を脅かす犯罪や交通事故への対策として、各種媒体による啓発や教育活動、通学路の点検、高齢者や子どもへの交通安全対策など、地域ぐるみの取組により、お互いに見守りながら生活の安全を確保する環境づくりを強化します。

政策項目

2-1 消防・防災体制の強化 2-2 防犯・再犯防止・交通安全対策の強化

ささえあう3 行財政運営

町内においてまちづくりの担い手を確保するとともに、一人ひとりが考え、まちづくりに自発的・意欲的に参画し、それぞれの役割を全うし、お互いが支え合うまちを目指します。

また、町内外からの担い手を増やすため、上市町に縁の深い事業者、出身者等の関係人口の拡大に努めます。

町民一人ひとりが活躍できる地域社会の形成に向けて、人口減少対策や、病院・商店・学校等といった生活インフラ*の維持など、地域課題の解決に向けて主体的に取り組む地域づくり活動の充実を図ります。

効果的で効率的な行政運営に向けて、多様な主体がお互いの特徴を理解し、尊重した上で、連携・協力し合って、地域資源*を活かしたまちづくり活動を行う環境を充実させていきます。このため、町民、団体、事業者、行政等と一緒に議論、検討する場を設けるほか、役場の業務改善や民間活力の活用、町民が必要な情報を町民目線で提供するための情報化の推進、議会への町民参加の促進、財政の健全化に向けた取組等を進めていきます。

政策項目

3-1 協働のまちづくりの推進 3-2 行財政運営の推進



園庭で遊ぶ園児



ふるさと観光上市まつり



大坪地域工業団地予定地

